

〈感想〉 私は2010年7月19日～23日にAustraliaのSydneyで開催された

9th World Congress on Computational Mechanics and 4th Asian Pacific Congress on Computational Mechanics (WCCM / APCOM 2010)に参加し、口頭発表を行いました。本研究は、移動一般座標系とALE法を用いた自由液面解析手法とその適用性に関するものです。

初めて国際学会に参加し、英語でのプレゼンテーションや討議を体験することで、次のようなことが重要であると感じました。

- ・自分の研究を積極的に伝えようという攻めの気持ち
- ・事実の羅列でなく感情に訴える表現

これらは日本語でのプレゼンテーションでも重要ですが、海外の研究者の発表はこれらが徹底されており、魅力的なプレゼンテーションが多いと感じました。

また、自由水面解析手法に関する最新の発表を聞いて、自分の研究をさらに発展させていかなければならないと感じました。

今回、京土会から助成金を得て国際学会に参加できたことは、有意義な体験でした。誠にありがとうございました。この経験を糧として今後も研究に取り組んでいきます。